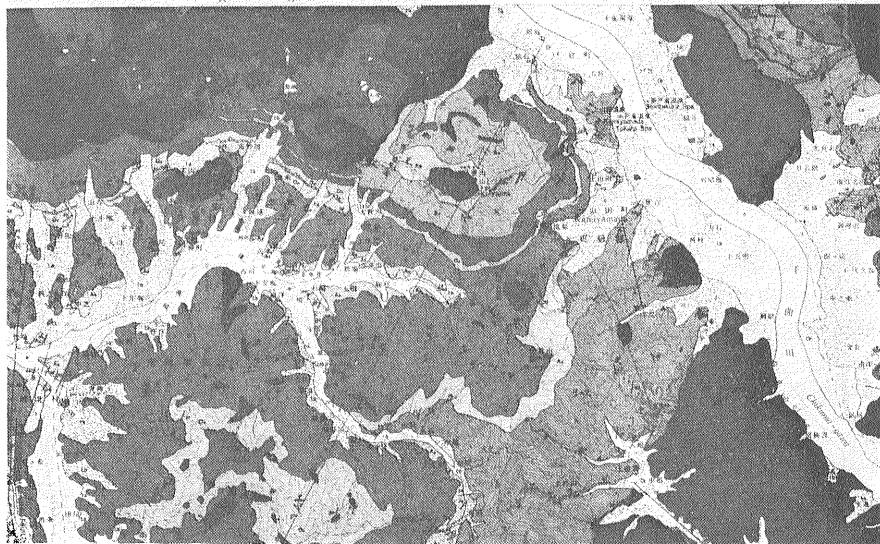


坂 城 SAKAKI



い中新世のグリンタフが卓越し 西側は別所層からはじまる堆積岩を主とする地層が分布し 大局的に北へ向つて次第に若い地層が分布するようになる。 地域全般にわたって 斑岩・ひん岩・閃緑岩などの岩脈が多く 独立した高峰をなしていることが多い。

また北西部には聖高原がありこれは鮮新世から更新世の溶岩類からなっている。

5 万分の 1 地質図幅の新刊

坂 城

SAKAKI

5 万分の 1 地質図幅
地域地質研究報告

・内村層は河東地域に分布し グリンタフと称される緑色凝灰岩と黒色頁岩からなり 4 部層に分けられる。別所層は主に頁岩からなるが スランプ構造や小褶曲が著しい。

・青木層は 5 部層に分けられる。 一般に砂質泥岩や砂岩泥岩互層が優勢で 堆積構造などの発達が著しい。小川層からは砂岩礫岩が優勢となるが 青木層と共に化石を多く産する。

・中新世後期の裾花層・込地層と地層は次第に火山岩に富むようになり 鮮新世からは冠着火山岩や三峰火山岩が高原を作るようになる。 一方地域南西部の塩田平を中心として湖成層が分布し 哺乳類化石が多く出土している。 全域には立山火山起源と目される大町テフラ層が広く覆っている。

著 者 加藤碩一(環境地質部)

発 行 工業技術院 地質調査所

取 扱 先 東京地学協会 (03)261-0809 262-1401
地学文献センター (04203)62-5050

・坂城図幅は長野県北部に位置し いわゆるフォッサマグナの一面を占めている。 千曲川が図幅地域の東寄りを北西—南東方向に流れ 小諸はわずかに上流 長野市は下流である。 この地域は昭和初期に 故本間不二男博士によって 「信濃中部地方誌」として集大成された地域の一部にあたっており 内村層・別所層・青木層と昔からなじみの深い地層名が つぎつぎと登場する。

・千曲川は図幅地域を東側の河東地域と 西側の河西地域とに分ける。 河東地域は大部分が河西地域より古

地質ニュース	第314号	10月号
昭和55年10月1日	定価 ¥500	千実費
編集	発行	
発行人	工業技術院 地質調査所	
発行所	林 久雄	
	株式会社 久業公報社	
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (03) 265-0951 (代表)	
	振替口座 東京 32466	
総発売元	大蔵省印刷局	政府刊行物仕入部
	東京都港区赤坂葵町2	
	Tel. (03) 582-4866	
印刷所	共同印刷株式会社	